

県庁舎跡地の整備に向けた検討状況（賑わいを創出する広場）について

1 県庁舎跡地活用の考え方の整理

- (1) 県庁舎跡地活用の考え方 ～長崎奉行所（西役所）の地を現代に生かす～
県庁舎の跡地は、江戸時代には「長崎奉行所西役所」が建てられ、幕末には、西役所内に海軍伝習所が開設されるなど、国際交流の舞台となった重層的な歴史を持ち、長崎発祥の礎となった歴史的に重要な土地である。
そのため、県庁舎跡地という観点に留まらず、こうした歴史を踏まえながら活用を検討していく必要がある。
- (2) 跡地活用における3つの方向性
- | | |
|-------------|--------------------|
| ◆多目的広場機能 | } 整備に向けて具体的に検討を進める |
| ◆交流・おもてなし機能 | |
| ◆ホール機能 | |
- ・・・今後、適切な時期に判断する
※本資料では、上記のうち、多目的広場機能について説明

2 多目的広場の具体的検討

- (1) 広場を整備する理由・目的
- この地の歴史を踏まえ長崎の中心・象徴でありつづけるために、今までまちなかには無かった規模の多目的な交流広場を活用の中心に据える
 - 県庁舎の移転に伴い、新たな賑わいを創出する場とする
 - 県民が日常的に利用でき、また、憩いの場としても利用することができる場とする
- (2) 広場の整備の考え方
- 利用に関して極力制限を設けず、多様な利用を想定した設備を備え、ある程度の広さを有するものとする
 - この広場では、マルシェ（朝市）や屋台、くんに係る催し、野外コンサート、県内各地の物産販売などの多彩なイベントの開催により、交流・賑わいを創出するとともに、日常における県民市民の憩いの場として提供する
- (3) 想定する利用者像
- 多様なイベントの開催による新たな交流・賑わいの創出
⇒ 国内外の観光客、県民
 - 県民が日常的に気軽に利用できる活動の場・憩いの場の提供
⇒ 近隣住民をはじめとする県民

(4) 考えられる広場の分類

広場の利用目的を踏まえ、3つの区分に分類して比較検討

	イベント開催型	憩い創出型	複合型
内 容	広場をイベントスペースとして貸し出し、多様なイベントの開催により賑わいを創出	広場内に木々やベンチ、東屋、噴水などを配置し、休息・憩いの場としての空間を提供	イベント開催型と憩い創出型の両方の特色を有する
利 用 要	イベント開催時は大勢の人が訪れ賑わうが、イベント利用がない時は、主に歩行者のためのスペースとなる	多くはないが、日常的に休息や憩いを求める人々が集う	
県 外 事 例	福岡市役所西側 ふれあい広場（福岡市）	警固公園（福岡市） 白川公園（熊本市） 末次公園（松江市）	しいのき緑地・石の広場（金沢市） 北三条広場（札幌市）
長崎市内 事 例	かもめ広場（尾上町・長崎駅隣接）	唐八景公園（田上町）	水辺の森公園（常磐町）

<県外事例の広場における分類別に整理した機能と主なイベントの実施状況>

広場分類	施設名		広場の機能								主なイベント	
	整備費		電源	給排水	照明	wi-fi	放送	イベント屋根	植栽	憩い設備 (ベンチ・東屋等)		
イベント開催型	福岡市役所西側ふれあい広場 (福岡市)	約1.6億円 (リニューアル費)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	◆天神クリスマスマーケット (約100万人、24日間) ◆ミュージックシティ天神 (約8.5万人、2日間)
憩い創出型	警固公園 (福岡市)	約4.0億円 (リニューアル費)	-	-	○	△ (周辺有)	-	-	-	○	○	◆福博花しるべガーデニングショー (約3.4万人、9日間)
	白川公園 (熊本市)	(不明)	-	-	-	-	-	-	-	○	○	◆フリーマーケット
	末次公園 (松江市)	約1.4億円 (リニューアル費)	-	-	-	-	-	-	-	○	○	◆松江水郷祭 (約30万人、3日間、周辺会場含む)
複合型	しいのき緑地・石の広場 (金沢市)	周辺敷地約6億円、 外構整備約4億円他 (しいのき迎賓館の 総整備費は約38 億円)	○	○	-	○	-	-	-	○	○	◆100万石まちなかめぐり (約2.9万人、2日間) ◆おしゃれメッセ(約3.1万人、3日間)
	北三条広場 (札幌市)	(民間整備)	○	○	○	○	-	-	-	○	○	◆札幌フラワーカーペット (約14万人、2日間) ◆OUTDOORDAY JAPAN (約2.6万人、2日間)

※警固公園はwi-fiの整備はしていないが、周辺にフリースポットがあるため公園内の一部でも利用可能
 ※イベント開催型は、イベントの種別によって求められる機能が細分化される

<長崎市内の広場におけるイベント例とイベント運営者が広場に求める機能>

イベント種別による広場に求められる機能は、イベント運営者への聴取状況を踏まえると、概ね以下のように整理される。

イベント種別	跡地周辺で開催されているイベント例		電源 (ア)	給排水 (イ)	照明 (ウ)	wi-fi (エ)	石畳 (オ)	放送 (カ)	イベント 屋根 (キ)	植栽 (ク)	憩い 設備 (ベンチ・ 東屋等) (ケ)	現地場が持つ機能
	名称	会場										
フェス (ステージ・ 会場イベント、 飲食、花火)	Love Fes	水辺の森 公園										電源(月の舞台のみ) 排水
	ながさき「食の遊宴地」	おくんち 広場	○	○	○	○	-	○	○	-	-	なし
	ランタンフェスティバル	湊公園 中央公園 等										なし
食・物販	地おこマルシェ	かもめ 広場	○	○	○	○	-	-	-	-	-	電源、照明、 wi-fi(周辺内) 屋根
	アイス万博 あいばく											
体験・啓発	長崎市水フェスタ	水辺の森 公園	○	○	-	○	-	-	-	-	-	電源(月の舞台のみ) 排水
物産	全国陶器祭り	おくんち 広場	○	-	-	○	-	-	-	-	-	なし
演し物	おくんち踊り町演技	おくんち 広場	-	-	○	○	○	-	-	-	-	アスファルト (石畳)

※イベント時の必要機能が広場がない場合、機材(発電機や照明設備)を手配・準備するなどして補完している状況(県内複数事業者からの聴取)

＜各広場分類で考えられる利点と課題＞

分類	利点	課題
イベント 開催型	○電源や給排水などの設備を備え、イベントを実施する上での利便性を考慮した機能を有しているため、多様なイベントの実施に繋がる	○憩いの機能が弱いため、平日やイベントのない休日などは、あまり利用されない ○イベント実施に向けた利便性の向上に比例して、整備・維持管理費用が、増加する
憩い 創出型	○植栽やベンチ・東屋など休憩のための設備、遊具などを備えることで、憩い・寛ぎを求めて利用者が訪れる	○イベント用設備をあまり必要としないフリーマーケットなど地域イベントの開催が主となり、多くの賑わいを創出する企画イベントの開催は困難
複合型	○イベント用の機能も備えているため、多様なイベントの実施にも繋がる ○植栽による緑地部分も整備されており、イベントがないときも一定の利用者が訪れる	○イベント実施に向けた利便性の向上に比例して、整備・維持管理費用が、増加する

なお、広場としての利便性の向上を図るうえで、どこまでの機能を付加して整備を進めていくかについては、今後、基本構想の策定を行う中で詳細に検討していく必要がある。

広場としての利便性



(5) 個別機能の利点と課題

整備する機能については、今後の議論を踏まえた上で更に検討を進める。
 (【整備費例】は、参考として類似事例を記載)

ア 電源設備

広場（屋外）で、イベントで使用する機材の動力源を確保するための電源設備（100V・200V）
 ※設置場所は、広場内のイベントスペースや交流・おもてなしの空間の配置を踏まえた上で、複数箇所へ設置を想定

利点	課題
<ul style="list-style-type: none"> 電源車や発電機等を持ち込む必要なく、広場内での電気の使用が可能となる 	<ul style="list-style-type: none"> 設備の整備費、維持管理費が生じる <p>【整備費例】 電源拡張工事 約 2,200 万円 (約 3,000 m²の広場の周囲 4 箇所 にイベント用電源を設置した例)</p>

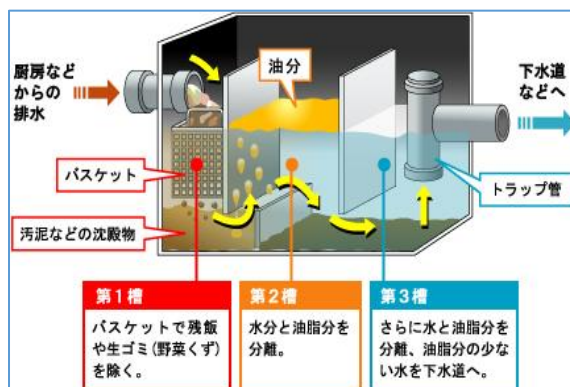


《電源設備イメージ》

イ 給排水設備

イベント開催者、広場利用者等が利用できる上水設備及びイベント時に生じる汚水や雨水等の処理を目的とした排水設備
 ■給水栓（上水道）
 ■排水時の食用油等の処理に対応した排水枡（グリーストラップ）
 ■外構整備 など

利点	課題
<ul style="list-style-type: none"> 広場への上水の持ち込みや、汚水の持ち帰りをすることなく、広場内で上水の利用、汚水の排水が可能となる 	<ul style="list-style-type: none"> 設備の整備費、維持管理費が生じる <p>【整備費例】 給水整備工・雨水排水整備工 約 1,700 万円 (約 6,000 m²の広場に、散水栓 2 基、水飲み場 1 基、集水枡 11 箇所等を設置した例)</p>



《排水枡(グリーストラップ)の処理イメージ・左、排水設備外観イメージ・右上、利用者用シンク・右下》

ウ 照明設備

イベントスペース用照明設備

利点	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間イベントの開催が容易になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の音楽イベントが増えると近隣への騒音問題が生じる可能性がある ・設備の整備費、維持管理費が生じる <p>【整備費例】 電源整備工（照明整備工） 約 120 万円/基</p>

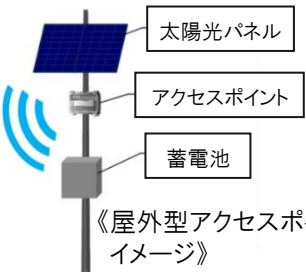


《照明設備イメージ》

エ wi-fi（公衆無線 LAN）機能

観光客等がスマートフォンやタブレット端末等を広場で気軽に利用するための公衆無線 LAN

利点	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・広場の利用者が無料で情報を取得できる（広場利用者への情報発信も可能となる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の整備費、維持管理費が生じる <p>【整備費例】 屋外型アクセスポイント 約 200 万円/基</p>



《屋外型アクセスポイントイメージ》

オ 石 畳

広場の一部に石畳スペースを設置 ※石畳の面積は 300 m²程度以上（参考）諏訪神社石畳は約 250 m²～300 m²程度 ※くんちの演し物の重量に対応可能な石畳の強度を確保

利点	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・広場内でくんち演し物の演技披露などが可能となる ・雨天時でも足元が汚れることなく利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の整備費、維持管理費が生じる <p>【整備費例】 石畳敷設面積 250～300 m²の場合 約 1,000 万円～1,200 万円</p>



《くんち演技イメージ》

カ 案内用放送設備

広場内に発信できる案内用放送設備

利点	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・イベント時に広場の利用者に対して、アナウンスが可能となる ・緊急時の広場内への放送にも活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣への騒音の可能性はある ・設備の整備費、維持管理費が生じる <p>【整備費例】 広場内放送機器のみ 約 150 万円 （電源・配線・工事費等別、 スピーカー 4 箇所想定）</p>

キ イベント屋根

広場内の一定のスペースに設置するイベント屋根

※交流・おもてなしの空間等の広場内の配置によって建物併設型、独立型などが考えられる

利点	課題
<ul style="list-style-type: none"> 雨天時のイベント開催が、一定可能となる 広場を利用する人々の避暑スペースの確保に繋がる 	<ul style="list-style-type: none"> 敷設形態により、広場の利用に一定の制約がかかる可能性がある 敷設面積、材質によって整備費用が拡大する 維持管理費が生じる <p>【整備費例】</p> <p>①屋根面積：約 320 m² 材質：酸化チタン膜材 工事費：約 5,700 万円</p> <p>②屋根面積：約 370 m² 材質：ガラス 工事費：約 1 億 7,000 万円</p>

《建物併設型例》 福岡市役所西側ふれあい広場(福岡市・上)
行基広場(奈良市 JR 奈良駅前・中)

《独立型例》 笠間芸術の森公園(茨城県笠間市・下)



ク 広場内植栽

県民が集う憩いの場としての空間を創出する植栽

■ 高木・低木・芝生など

利点	課題
<ul style="list-style-type: none"> 緑地部分を設け、憩いの空間を提供することで、県民が気軽に訪れることができる 高木などで日影をつくりだすことで、休憩などに活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> 整備費が生じる 天災や広場の利用状況により芝生養生、樹木移植等の維持管理費が生じる <p>【整備費例】</p> <p>植栽工 約 1,800 万円 (植栽面積約 3,400 m²に、高木・中低木・芝生等を移植した場合)</p>

《植栽イメージ》警固公園(福岡市・上)、日比谷公園(千代田区・下)



ケ 憩い施設（ベンチ・東屋等）

広場利用者が寛ぐためのベンチ・東屋等の憩い施設

利点	課題
<ul style="list-style-type: none"> 休憩施設を配置することで人々が気軽に訪れやすくなる 高齢者や子どもなどが、容易に休憩できる 	<ul style="list-style-type: none"> 設備の整備費、維持管理費が生じる <p>【整備費例】</p> <p>ベンチ 約 20 万円/箇所 東屋 約 300 万円/箇所</p>

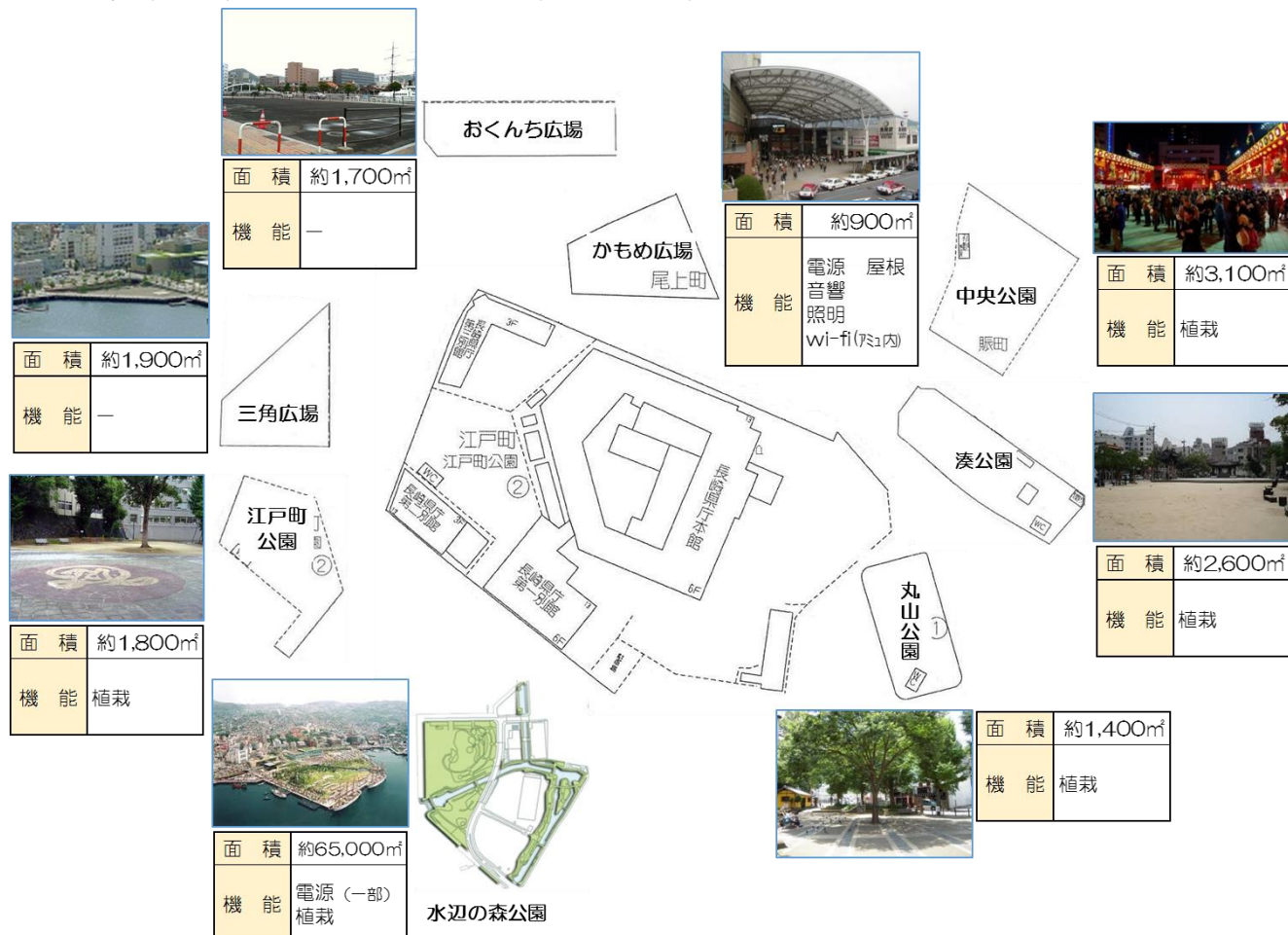


《憩い施設のイメージ》

(6) 広場の面積

最低 5,000 m²以上、できる限り広く確保する。

【参考資料】 県庁舎跡地周辺の広場・公園の概況



※上図は広場・公園の形状を示しているものであり、実際の縮尺とは異なる。

【参考資料】 広場（県外事例）の概要

	福岡市役所西側 ふれあい広場（福岡市）	警固公園 （福岡市）	白川公園 （熊本市）
上段： 全景			
下段： イベント や憩いの 様子	 ミュージックシティ天神 2016		
概 要	<p>一面に人工芝を敷設した広さ約 3,000 m²の広場。利用者がイベントを開催する上での利便性を考慮し、広場の周囲に電源設備を設置、そのほか給排水設備、貸し出し用の音響設備などを整備。</p> <p>また、照明を備え付けた屋外ステージ屋根を設置し、雨天時にも一定の対応が可能な広場としてイベントを催しやすい広場の環境を整えている。</p>	<p>福岡市の西鉄天神駅西側にある都心の公園。国体道路や渡辺通りなどの主要な幹線道路に囲まれ周囲には商業施設や飲食店が立ち並ぶ。平成 24 年に再整備され開放感のあるデザインとなった。公園の出入口は多方面にあり、公園内を通り抜けて通行することができる。そのため、公園利用者だけでなく、通勤・通学・買い物等で周辺を訪れた多くの人が公園に足を踏み入れることに繋がっている。</p>	<p>戦前の旧県庁舎跡地に整備。国道 3 号沿いの“まちなか”にありながらも、木々の緑に囲まれベンチや東屋を配置するなど、憩いを求めて人々が集う空間を創出。</p> <p>園内には幼児用の遊具コーナーもあり、小さな子どもと一緒に家族連れや地域の人々の憩いの場となっている。</p>
面 積	約 3,000 m ²	約 11,300 m ²	約 20,000 m ²

【参考資料】 広場（県外事例）の概要

	末次公園 (松江市)	しいのき緑地・石の広場 (金沢市)	北三条広場 (札幌市)
上段： 全景			
下段： イベント や憩いの 様子			
		しいのきコンサート	さっぽろ八月祭 札幌フラワーカーペット
概 要	<p>宍道湖一体を公園化する事業の一環で整備された、市役所前に位置する芝生の広場を中心とした公園。平成 15 年に再整備が行われた。</p> <p>官公庁を中心としたビジネス街の憩いの場であり、宍道湖を鑑賞する観光スポットとしても利用されている。</p> <p>松江の夏祭り（水郷祭）には露店が並び、多くのイベントが開催される。</p>	<p>平成 22 年、旧県庁舎の格調ある意匠をそのままに、観光案内、レストラン・カフェ、会議室、ギャラリーなど憩い・交流の空間を備えた施設「しいのき迎賓館」を整備。</p> <p>しいのき迎賓館正面には広さ約 900 m²の石の広場があり、敷地全体は芝生と緑の木々で囲まれている。館と広場を一体的に活用したイベントも多い。晴れた日の舗装された遊歩道と小川が流れる「しいのき緑地」は絶好の散歩コースとなっている。</p>	<p>道路と広場の機能を併せ持つ施設として平成 26 年にオープン。</p> <p>札幌のメインストリートである札幌駅前通と歴史的観光資源である北海道庁赤れんが庁舎の間に位置し、イチョウ並木に囲まれた広場となっている。</p> <p>四季を通じた大小さまざまなイベントが実施されるとともに、日常的な休憩・飲食等の滞留があり、都市全体の賑わいを創出している。</p> <p>整備後、通行量は約 1.5 倍に増加している。</p>
面 積	約 8,000 m ²	敷地全体約 31,000 m ²	約 2,800 m ²